

平常時の確認事項

●自宅の状況を確認 自宅の状況を洪水ハザードマップで確認しましょう。

浸水深：\_\_\_\_\_ 浸水継続時間：\_\_\_\_\_

自宅が洪水浸水のおそれがある区域にある はい いいえ

●避難を開始するタイミング

高齢者等避難が発令された時(高齢の方、障がいのある方など、避難に時間を要する場合)

避難指示が発令された時(上記以外の場合)

●避難する場所 どのような場所に避難すべきか考えましょう。

指定避難所 自宅の浸水しない場所(2階など) 近くの頑丈な建物 洪水区域外にある親戚・知人のお宅 その他

避難する場所：\_\_\_\_\_ 避難する場所までの移動時間：\_\_\_\_\_分

●必要な物を準備

・	・	・
・	・	・
・	・	・

洪水ハザードマップは、市ホームページで確認できます。



ポイント

「どのような場所に避難すべきか」を考え、実際に避難する際に「いつ」、「どこへ」、「どの位の時間がかかり」、「どのような手段で」、「何を持って」避難するかを考えましょう。

気象・行政の情報

3日前

早期注意情報(警戒レベル1)

2日前

氾濫注意情報(警戒レベル2相当)

大雨・洪水注意報(警戒レベル2)

1日前

★豪雨災害のおそれに関する緊急会見

氾濫警戒情報(警戒レベル3相当)

洪水警報(警戒レベル3相当)

警戒 レベル3

高齢者等避難を発令

氾濫危険情報(警戒レベル4相当)

警戒 レベル4

避難指示を発令

氾濫発生情報(警戒レベル5相当)

大雨特別警報(警戒レベル5相当)

警戒 レベル5

緊急安全確保

避難のポイント

●実際に避難する際に必要な行動を考えましょう。

・	・
・	・
・	・
・	・



ポイント

台風や大雨を想定し、雨が強くなる前に必要な事前準備を考えましょう。

●避難する際の注意点を考えましょう。

・	・
・	・
・	・



ポイント

避難所に向かうなど、自宅の外に避難する場合は、雨が強くなる前に避難することを心がけましょう。

ここまでで避難を完了



ポイント

避難が完了していない場合は、直ちに避難を開始してください。外に避難することでかえって危険な場合は、建物内の安全な場所(2階など)で安全を確保しましょう。

●自分の状況を家族や親戚などに連絡しましょう。

■家族や親戚の情報

名前	電話番号	必需品	昼の居場所	備考

平常時に考えておく時期

雨風が強くなる前に行う時期

避難行動を開始する時期

雨・風が時間とともに強くなる

身の安全を確保すべき時期

0時間